**小金井市環境基本計画に関するヒアリング資料**

**＜生活環境部会＞**

2019年10月1日

1. **部会概要**＜2019年6月時点の公式サイト内情報参照：資料1＞
2. **これまでの取り組み**

〇部会発足の発端：

運営会役員と環境政策課(大関課長・係長)への市民会議改革提案(事務局長立候補し、提案)＜2017年5月、2016年12月入会の半年後：**資料2-1、2-2**＞

その後、新役員の市民会議運営方針(部会運営をメインとする)と異なるために事務局を退任し、生活環境部会を立ち上げることにする

〇部会の沿革：

＜設立当初＞

＊2017年5月定例会での部会立上げ承認(前運営会での発足提案後)後発足＜**資料3-1**＞

＊当初の活動：基本の方向性設計と複数ワーキンググループ(各メンバーより提案があったもの)立上げと市への協働提案：雨水貯留公共施設の設備調査(2019年6月)＞その後、9月に環境政策課担当と協力して調査実施＜**資料3-2**＞

＊2017年11月：部会サイト開設＜以後、参加メンバー(市民会議会員以外も含む)との連絡交流は、サイト登録し、サイト上で実施　**資料3-3**＞

1. **今後の活動**

上記1）の部会活動概要にある各WG活動の推進＞詳細は、弊部会サイト(<https://www.koganei-kankyo.jp/seikatsu/>)をご覧ください。

1. **活動を実践する上で課題に感じていること**
	* 1. 現状の環境市民会議(個人会員と市民団体などの団体会員のみの参加)の活動では、現状の環境基本計画の内容推進は難しく、生活環境部会では、会員以外の参加メンバー(法人、学校関係者、市職員、学生、一般市民)の参加も求め、そうした会員をも含む参加という環境市民会議の方向性への準備をしつつ、活動を推進している。

そのため、会費を納入しない会員も多く集めているが、主にボランティアと寄付で成り立っているため、正規の募集には至っていない点

* + 1. 現状の市内の環境基本計画への推進現状やPDCAなどの行政改革による事業

推進の意識レベルの低く、現状での環境政策課の細々とした事業への連携依頼というレベルでの連携だけが求められ、その事業の課題検討や協働しての推進にまで進んでいないという点。前課長への改革提案も実質的に無視された状況。上記、部会発足の発端となる企画書参照のこと

(**また、環境基本計画評価については、本部会のWGにても部会活動に関連する内容については、実施中。加えて、別途、現状計画の評価を運営会プロジェクト＜藤崎リーダー＞にて、独自に実施中。その中で部会として、提案と報告していく予定：年内環境政策課に提案を予定**)

* + 1. 部会へのメンバーへの理解推進が主な活動で実際の改善となる運動や活動に

まで現状では、到達していない点**＜2021年までには資金も含めた実際活動の推進を計画中＞**

* + 1. 市と市民の連携以外にも環境関連や文化・教育関連審議会(環境審議会や地下水保全会議、玉川上水・小金井桜活用整備推進委員会、社会教育委員の会議など)や議会や他自治体との連携の模索するためのWG活動も実施(部会サイトのWG参照のこと)しているが、行政(市長、環境部、環境政策課、ごみ対策課、公園係など)のこうした組織や部局との連携への意識が低く、多くの連携の実施が困難な点。(本部会WGでは、市政点検WG中で建設環境委員会の報告確認)

**以上、詳細は、弊部会サイトをご覧ください。検索システムがあるので、知りたい内容は、検索ワードによりサイト内のコンテンツを知ることが可能です。**